



松戸市立総合医療センター
附属看護専門学校

先輩看護学生の知恵やアドバイスをお届け!

全員の元気を助け合おう

今月のテーマ

実習グループ(仲間)のチームワーク

取材:『Clinical Study』編集室

実習グループ(仲間)のチームワークについて、
松戸市立総合医療センター附属看護専門学校の2年生の皆さんにうかがいました。

— 実習メンバーとは事前、あるいは実習中にどんなことを行いましたか?



佐久間: 実習中のカンファレンスでは、その日行ったことや反省点、次の課題などを話し合っ、互いに「ここをもっとこうしたい方がいいんじゃない?」などとアドバイスをしたりしました。

高橋: 実習前は、毎日実習目標を立てたり持ち物の確認をし合ったりしました。あとは先生にいただき実習の1日の流れの打ち合わせをしました。実習中のカンファレンスでは、毎回司会を変えてメンバー全員が行うようにしていました。

平良: 実習前はグループで技術強化を行いました。具体的には、先生方から出された課題に取り組み、そのうえで自分たちで患者さんを設定して、患



者さんをイメージしながら練習しました。

関: 実習が終わったら毎日、翌日の行動計画やケア計画を互いに確認していました。当日ケアを行うときは補助に入ってくれるペアを組んだ学生と流れを確認してから行うようにしていました。

丸山: 疾患の病態や治療・看護について事前に調べることがたくさんあったので、メンバー内で進捗の確認やどのように進めていくかを相談していました。実習中は持ち物や記録物が多いので、必要なものを一覧にまとめて共有・確認するようにしていました。

菅原: 丸山さんも言っていましたが、必要な参考書などが多いので、メンバーで分担して持ち運びしていました。実習中は患者さんとのコミュニケーションのとり方が難しかったときに上手な人に相談したりしていました。



1年生に向けて実習へのアドバイス

学校での練習と実際に病棟で患者さんに行う技術は違うので、実習前の技術練習は患者さんの状態などを想定しながら行うことが大切です。



平良 郁美さん



関 璃緒菜さん

先生や指導者さんに指導していただいたことと同じことを、ほかのメンバーが繰り返すことのないように、その日のうちに全員で共有しておくことが大切です。



佐久間 滯さん

つらいとき“自分だけ”と思わないで仲間と一緒にがんばってるんだと思えば、つらくも乗り越えられます。がんばってほしいです。



菅原 玲奈さん

実習がつかったときグループメンバーみんなで励まし合っって乗り切れたので、メンバーは仲間として大切にしてほしいなと思います。



高橋 美聡さん

患者さんの病態やケアを考えるときに必ず解剖生理の知識が必要になるので、1年次の基礎的な知識を深めておくことは大切だと思います。



丸山 花菜さん

わからないことがたくさんあって不安になると思いますが、そのたびに先生に聞いたり調べたりして、わからないままにしないようにしてくださいね。

毎年7月に実習病院で防災訓練を行っています



— 実習メンバーとの印象的なエピソードを教えてください。

関: 実習中は夜遅くまで起きていたことが多く、寝ないようによくメンバーと電話をしていました。テレビ通話で相手の顔が見えると安心しましたし、一緒にがんばろうと心の支えにもなりました。

佐久間: 実習終了後、ほかの学生が受け持った患者さんに全員であいさつに行きました。軽度認知症があり、受持ちの学生のことを忘れていたことに衝撃を受けました。

菅原: 患者さんとのかわりかかわりで悩んでいたときに、先生も指導者さんも、そしてメンバーもその場で意見・アドバイスをくれたのでとても安心感を得ることができました。そのときのメンバーとは今でも遊びに行ったり相談をしたりしています。

高橋: 前回の実習グループはそれまで互いにあまり話したこともなく、最初はバラバラでうまくいかなかったのですが、途中で「もっと互いに声かけしよう」と話し合いをしました。そうすると、その後は計画などもスムーズに進められるようになりました。



丸山: 私たちの実習グループはもともと仲の良いメンバーだったこともあり、相談事など一人が発言したことに対してみんなで意見を出し合ったりしていました。協力し合い、助け合いながら乗り越えられました。

平良: お昼に、病棟の食堂で先生や指導者さんと一緒にみんなでご飯を食べたことです。実習中は厳しいご指導をいただくことも多かったのですが、お昼のときは笑顔で皆の話を聞いてくださったりして、とても印象に残っています。



School Profile

実習病院である松戸市立総合医療センターは、病床数600、30以上の診療科を備えており、地域の中核病院として高度かつ良質な医療を提供しています。



松戸市立総合医療センター
附属看護専門学校
〒271-0064
千葉県松戸市上本郷 4182番地
TEL:047-367-4444



開校49年の歴史をもち、専門職業人として必要な知識・技術・態度を基盤にした看護実践能力を身につけ、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成することを目指しています。